

「東桜の良さを大切に」

東桜小学校長 橋 本 新

令和5年度、東桜小学校が、新たな1年の航海に向けて出発しました。

この東桜小には、自慢できるいくつかの伝統があることをたいへん誇りに思います。素直な子どもたちの元気な日常のあいさつ、行事や児童会活動などに取り組む真剣な姿、安定した教育活動、学校を支援してくださる保護者、地域の方々の協力など、そのどれもがかけがえのないものです。

そして、このような学校が維持できるのは、保護者、地域の方々の心強い見守りのおかげだと思います。その上で、教職員がチームであることを意識して共働りし、日々のきめ細かな指導を継続していること、子ども一人一人に寄り添い、大切することができているからです。

東桜小学校の良さは何か、今まで継続してやってきた日々の活動や行事にはどんな良いところがあるのか、コロナ禍を経て明らかになったこともあると思います。それをもう一歩高めるには、今、教職員皆で何ができるのかを考えていきたいと思います。そして、それを具体的に形に表していきたいと思います。

本校の目指すべき方向性と課題を共有し、教職員が意欲とやりがいを持ちながら、学校の教育力を高めていきたいと考えています。

今年度も、目指す学校像として三つの姿を描いています。

一つ目は、「いつもあいさつの響き合う、笑顔あふれる東桜小学校」です。

子どもたちに「東桜小学校をどんな学校にしたいですか」と質問すると、その多くが「あいさつがしっかりできる学校です」

「笑顔がいっぱいの学校です」と答えてくれます。人は互いにあいさつを交わし合うことで人間関係が始まり、そして広がり、豊かな心を醸成していきます。あいさつは、教職員、家庭、地域が一体となって取り組まなければ身に付けることはできません。

ん。家庭、地域でのご協力もよろしくお願いいたします。

また、笑顔は温かな気持ちを育みます。そして、周りの人も笑顔にし、どんどん広がります。子どもたちが自然に笑顔になれるよう努めていきたいと思っています。

そして今年度も、浸透している『東桜STEP（ステップ）』を合い言葉に、笑顔を忘れずに（Smile）、ありがとう（Thank you：感謝の心）、ごめんなさい（Excuse me：素直に謝る心）、どうぞ（Please：思いやりの心）の気持ちを大切にした呼び掛けを、地道に続けていきたいと考えています。

二つ目は、「一人一人の子どもの良さを見つけ、伸ばせる東桜小学校」です。

子どもたちは、最初、期待と不安でいっぱいです。そして、だれもが、この新学年のスタートを機会に頑張ろうとしています。だからこそ、私たち教職員は、子どもたちの、「良くなりたいたい」という思いにしっかりと寄り添い、共感し、愛情をもって、子どもの学びの伴走者として、伸びるための支援をしていくことが大切です。子どもの良さを信じ、人生の中で心身ともに著しく成長するこの時期に、自分自身の土台をつくることが重要だということを、ことばの持つ力を信じて丁寧に、そして、粘り強く語りかけていきたいと思えます。

三つ目は、「教職員、保護者、地域がともに協力しあい、教育の質を高めていける東桜小学校」です。

いろいろな機会に、保護者や地域から、本校に対する熱いメッセージをよく頂戴します。今年度も保護者、地域の方々に積極的に参画をお願いし、共に知恵を出し合い、創意工夫しながら教育活動に取り組んでいきたいと考えています。そして、東桜小学校が誇れる安定した教育実践を継続し、一人一人の子どもの能力と可能性の伸長に、果敢にチャレンジしていきたいと思えます。

保護者、地域の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。